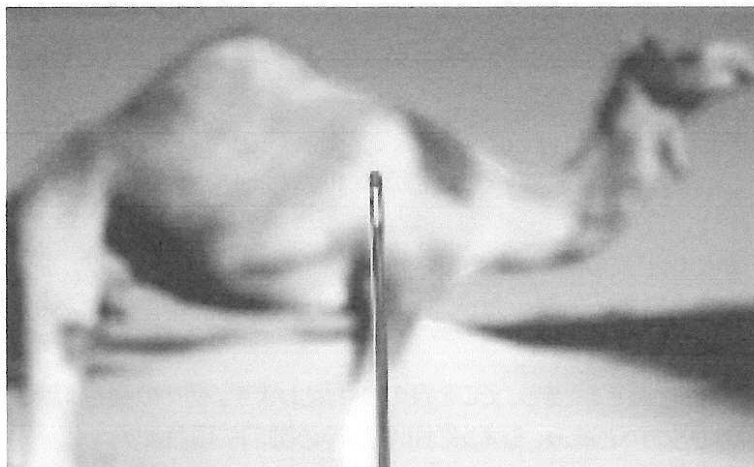


＜百倍の祝福を受ける人＞

マルコ10：23～31



【先週の振り返り】

一人の青年が、永遠のいのちを受けるには、自分は何をしたらいいかと、熱心に求めてやってきた。律法に言われることは、幼いころから守ってきたという青年に、イエスさまは、財産を全部売り払って、貧しい人達に与えなさい。そうすれば、天に宝を積むことになる。その上でわたしについて来なさいと言われた。青年は顔を曇らせ、悲しみながら立ち去った。なぜなら、彼は、たくさんの財産を持っていたから。

*ポイント

「これさえあれば、人生、やっていける」と彼が手離せず、最終的に自分の人生の抛り所にしてきた「財産」が、実は主イエスとの間を隔てる大きな壁になっていた。慈しみ(アガペーの愛)でイエスさまは、この青年を招いた。

イエスさまは、当時の常識を覆して言った。

裕福な者が神の国に入ることは、何とむずかしいことでしょう。らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。

弟子たちの間には動揺 それでは、だれが救われることができるのだろう……??

イエスは、彼らをじっと見て言われた。

「それは人にはできないことですが、神は、そうではありません。どんなことでも、神にはできるのです。」

ペテロ ご覧ください。私たちは、何もかも捨てて、あなたに従ってまいりました!

裕福な青年は、自分の財産を手放すことが出来なかった。しかし自分は……

自分はどうかだろうか……? 優先順位は? お金の使い道、時間の使い道 etc
大切なことが、自分の心の欲するままに、すり替えられてしまっていないか?

信仰の創始者であり、完成者でイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないためです。 ヘブル 12 : 2, 3

自分の弱さに気づいた時こそ、イエス様が示された神の可能性
「人にはできないことだが、神には何でもできる」ここに立ち返る。

イエスさまを信じてからも山あり谷あり。しかし
なんと幸いなことでしょう。その力が、あなたにあり、その心の中にシオンへの大路のある人は。
詩篇 84 : 5
彼らは涙の谷を過ぎるときも、そこを泉のわく所とします。初めの雨もまたそこを祝福でおおいます。
彼らは、力から力へと進み、シオンにおいて、神の御前に現れます。 詩篇 84 : 6, 7

ペテロ 「何もかも捨ててあなたに従ってまいりました！
(私たちには何が頂けるのでしょうか?)

この地上では・・・百倍にも匹敵するほどの恵みと祝福。
後の世では・・・永遠のいのち

しかし！

誇って自己満足するような事
自分の犠牲を誇り、他を見下すような事がもしあれば
他の者に追い越されてしまう

しかし、先の者があとになり、後の者が先になることが多いのです。 31 節